

箱根組ニュース

第384号 2025年 5月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

西川夫人の約二年ぶりの参加に驚いたメンバー！ 戸塚舞岡公園は素敵な里山だった！

4月20日(日) JR東京駅発8時5分の東海道本線普通小田原行きに乗車。(この日は、山手線。京浜東北線の一部が運休ということで、辰巳から有楽町経由での東京行きの線が使えない。辰巳組の4名は逆方向の新木場乗り換えで、京葉線東京駅へと向かったが、これは東京駅ではもはやない、ほぼ有楽町駅のような。ともかく早めに出たので一番に東海道線のホームに着いた。)

東京駅のホームに集合したのは川名夫妻、有倉、星野(幸)、鈴木、佐藤、星野、戸丸の8名。途中から奥村、舞岡駅で合流の神山、三田村、神吉、と12名と思っていた。

舞岡駅前を9時5分過ぎ、下見をしてくれた川名さん先頭に歩きます。案内看板には舞岡公園1.5キロとある。

車道の右側の遊歩道は花が植えてあり、小さな小川が流れていてなかなかいい感じだ。すぐに右側に舞岡ふるさと祭りの横断幕があり、舞岡ふるさと村「舞岡や」という農産物などを売っているお

店に到着。ここで豊作のタケノコなどを見てみると、なんと西川さんから電話があり、舞岡公園の駐車場にすでに車で到着とのこと、しかも奥様の一枝さんと一緒とのこと。

一枝さんが箱根組に参加したのは私のデータでは2023年3月の御前山だと思うので約二年ぶりの参加だ。病気をされてリハビリ中とは聞いていたがまさか今日参加とは驚いた。先日の黒岳で、西川さんから歩くのが早くなったという話は聞いていたが再会が待ち遠しい。というわけで西川夫妻とで14名ということになった。

小川の遊歩道はつつじや八重桜が咲いている。遊歩道には舞岡町小川アメニティと名前が付いている。アメニティには快適な環境という意味があるらしい。初めて見たがベニバナ爪草というかわいらしい花が沢山咲いていた。ストロベリーキャンドルとも言われているらしい。暑さに弱く夏には枯れてしまうらしい。



9時23分、右側の舞岡八幡宮を通過。八重のヤマブキが咲いている。竹林が多くタケノコの産地のような様子だ。

9時半。左側に少し広い場所がありここでストレッチ。佐藤さんのリードで体をほぐす。すぐ横は舞岡ふるさと村虹の家という施設がありここを覗いてみる。川名さんがあまり体調が思わしくないとこのことでこの後別行動になる。途中で撤退もあるかとの話だった。駐車場付近にいる西川さん夫妻と合流しようとのことで少ししたら川名夫妻もこちらに向かうということに。舞岡の里山はすでに昭和の雰囲気でもとてもいい感じだ。

さて、9時44分。少し戻って左方向の山に入っていく。タケノコが道端にたくさん生えている。民家の横の八重桜がきれいだった。

収支	
繰越	19225 円
支出	
ニュース/HP 作成	500 円
当日プリント代	120 円
現在高	18605 円

山道の傾斜が見えてきた。この辺りで川名夫妻は戻ることになる。西川夫妻と無事に合流を祈る。山道は公園と名がついてはいるが、それはもう普通の山道だ。あ

ちここに竹が生えているが普通の雑木林だ。

9時51分、右、舞岡駅、左、舞岡公園ふれあい広場とある。階段状の道を登って行く。道の横には大きな桜の木が雑木と混在して並んでいる。

10時1分、少し右側が開けてくる。街並みの向こうに白い富士山がうつすらと見えている。小休止。

広い道を来たが、左に分岐しているので曲がってみる。

畑に何やらピンクの花が咲いている。近づいてみると美味しそうなキャベツの畑にホトケノザの可愛い花がびっしり咲いている。畑としては雑草だがきれいだった。ホトケノザは春の七草のとは違う。七草の方はコオニタビラコのようなものだ。

右に細道の分岐があり、ふれあい広場、瓜久保の家とある。ここを進んでいく。

10時18分、左にきれいな菜の花畑。つつじのきれいな薄いピンク。そしてオオム

5月18日(日)奥武蔵・蔵山(1044m)

レギュラーコース 5時間20分
(上り2時間30分・下り2時間50分)

飯能駅から湯の沢行ききのバスで約1時間、名郷バス停から真つすぐ山頂を目指します。下りは藤棚山から大ヨケノ頭、金毘羅山を経由して、さわらびの湯へ降ります。

○持ち物 お弁当、飲料水、非常食、カップ、傘、雨具、着替え、タオル、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、他

※申し込み締め切りは 5月16日(金)

集合 5月18日(日)西武池袋駅
6:14発 快速飯能行き
(前から3両目)

途中駅発
練馬 6:21 石神井公園 6:25
ひばりヶ丘 6:30

飯能着 7:11 (バス乗り換え)
7:30発 湯の沢行き
名郷 8:25着

交通費 池袋～飯能 片道481円
飯能～名郷 片道890円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

<https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegum>

ラサキ。

10時26分、前田の丘入口。左に前田の丘への道が下っているが、まっすぐ尾根道を進む。また、森深い尾根道だ。桜がやはり並んでいる。

10時32分、左に瓜久保に向かって階段状を降りてゆく。数分で河童池に到着。右回りで丸い池をまわる。新緑の紅葉が美しい。秋も期待できる。右の草地に大きな望遠カメラの集団がいる。どうやらオオルリを狙っているらしい。



池の反対側には河童が二匹相撲を取っているオブジェがある。上手投げと肩透かしの戦いのようだ。

10時40分。瓜久保の家（休憩所）到着。川名夫妻と西川夫妻がやはり尾根から降りてくるということここで大休止。ウグイスやカエルの声が共演している。ガビチョウも。

11時頃、両夫妻が降りてきて再会を喜ぶ。特に西川夫人は約2年ぶりの再会。元気で会えてよかった。

11時15分、出発。メイン通りを小谷戸の里に向かう。体験畑には六条麦の淡い緑の穂が美しかった。麦茶になるらしい。

道端にはゼンマイが伸びていた。

11時39分、小谷戸の里に到着。古民家だけは見ておきたいと思って入ったがいろんな催しがあつて飽きさせない。古民家では実際にかまどで湯を沸かしていたし、わら細工やいろんなものが体験できる。ぼっくりの竹馬も面白かった。

田んぼには今は珍しいレンゲソウ。谷戸の草地の横を抜けてゆく。体験で田んぼの作業していた家族。小さな子供が地下足袋を水辺で洗っていた。

12時10分頃、さくら休憩所付近の草地に到着。ここで昼食だ。

持ち寄りのお弁当とお惣菜、佐藤さんの簡易バーコーナーなどで盛り上がった。ハンモックも。

2時頃、出発。西川夫妻は駐車場へ。他は京急ニュータウンバス停から戸塚駅に。



